

都市構造可視化のポテンシャル

～可視化したら何が見える？～



福岡県
建築都市部 都市計画課

1.福岡県の方針

持続可能な都市を目指すための取組

○県の役割は広域的な視点から都市計画の方針を提示

環境負荷が少なく、多様な世代が快適で、魅力ある都市生活を街なかで送ることができる「集約型の都市づくり」

便利で魅力ある
拠点の形成

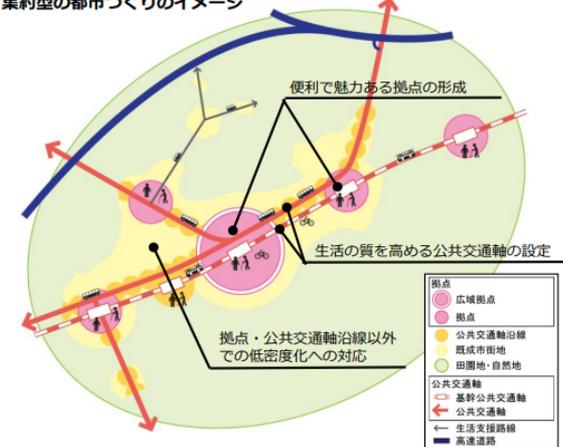
生活の質を高める
公共交通軸の
設定

拠点・公共交通軸
沿線以外での
低密度化への
対応

広域的な枠組みによる
都市づくり

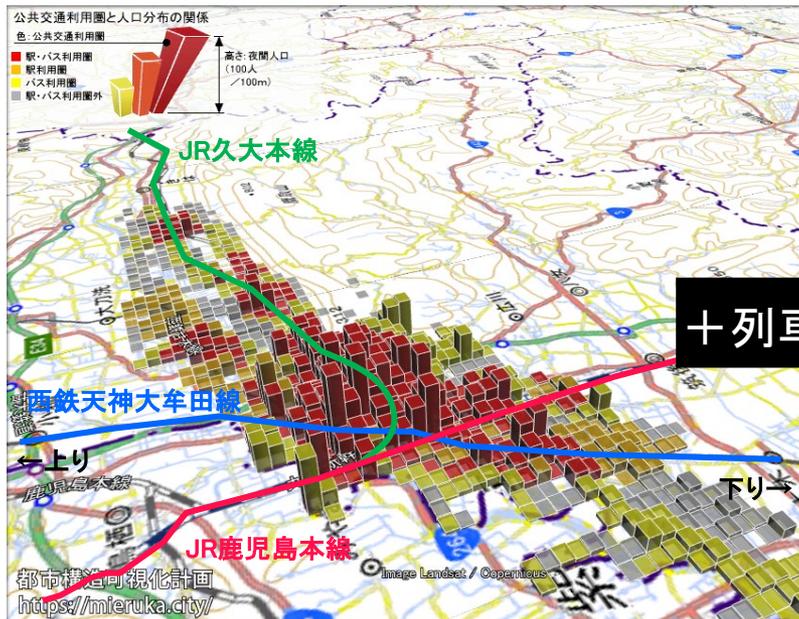
都市情報一元化による
戦略的な施策展開

集約型の都市づくりのイメージ

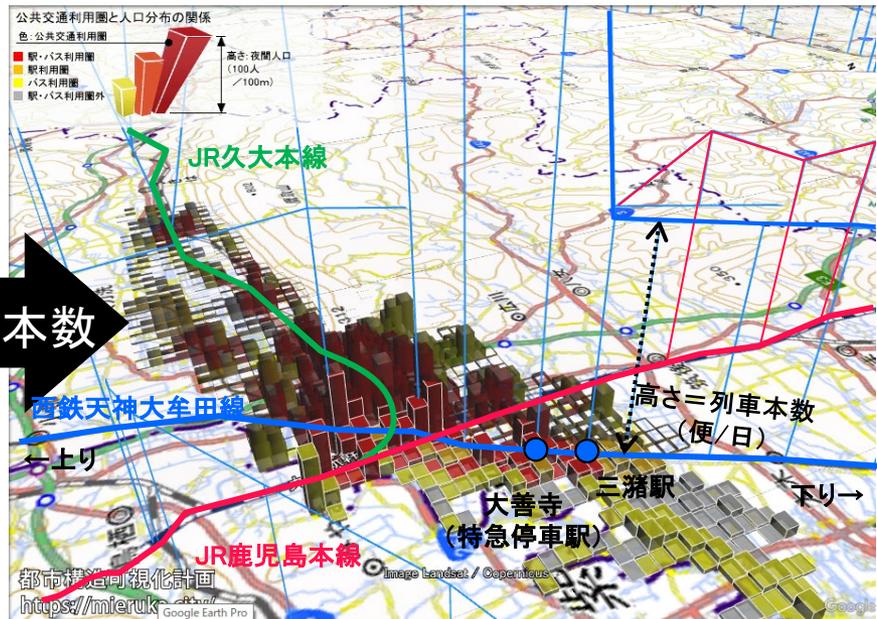


2.可視化_ポテンシャル

公共交通軸 (色) × 人口 (高さ)



+列車本数



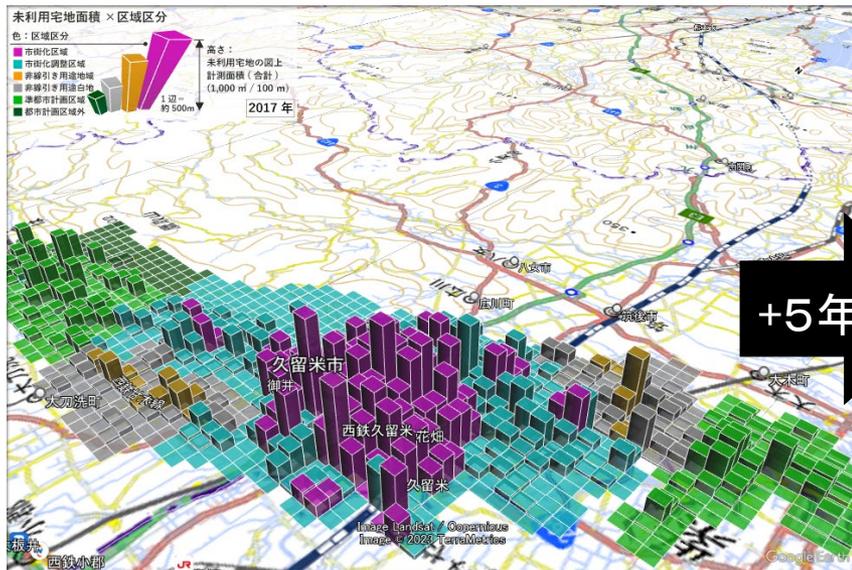
・鉄道及びバス利用圏×人口が少ない地域

・鉄道利用圏×人口が少ない地域

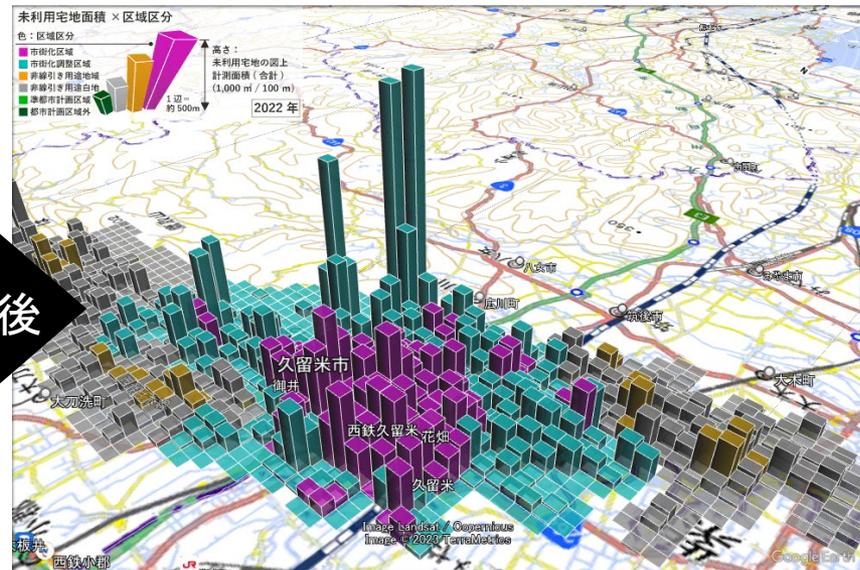
⇒特急の停車する大善寺駅までは人口が多いが、普通しか停車しない三潁駅は人口が少ない。

3.可視化_経年変化

区域区分（色）×未利用地面積（高さ）



2017年

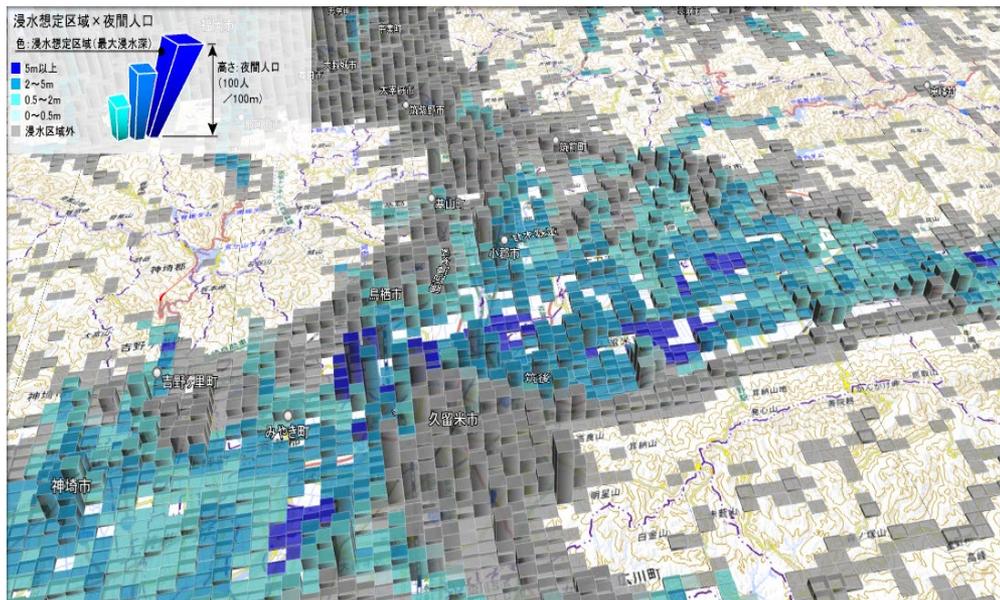


2022年

- ・市街化区域内（図中央）の未利用地が減少
 - ・市街化調整区域内（図中央上）の未利用地が増加
 - ・非線引き用途白地（図右側）の未利用地が増加
- ⇒計画的な都市計画を行っていく必要性

4.可視化_防災

浸水想定区域（色）×人口（高さ）



2017年

- 浸水被害影響が大きい×人口が多い地域
⇒積極的なハード対策
- 浸水被害影響が大きい×人口が少ない地域
⇒土地利用を域外へ誘導



避難所の収容人数

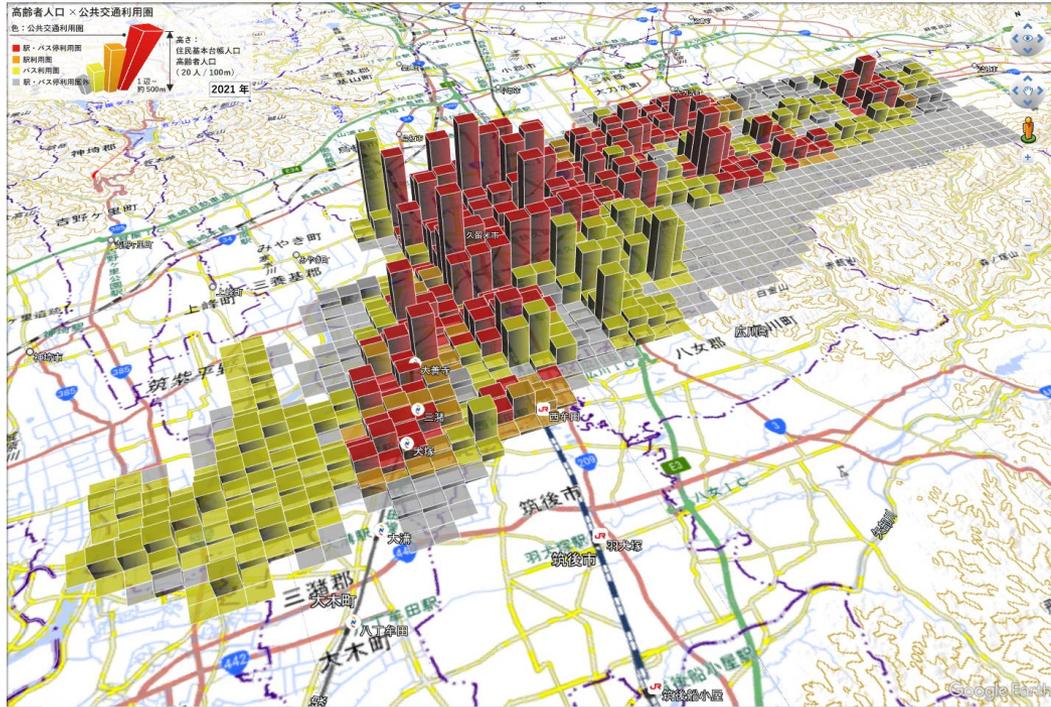


隣市の避難所

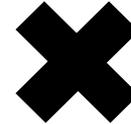
さらに、避難所の収容人数等を比較することで優先順位を視覚的に。
また、近隣自治体の情報で広域連携の可能性が見える

5.可視化_将来に備えて

公共交通利用圏（色）×高齢者人口（高さ）



高齢者人口(65歳以上)



小売販売額



医療、福祉施設

- ・高齢者が自力でアクセス出来る範囲×小売店、医療、福祉施設
⇒集積の目安に

課内打ち合わせにて共有



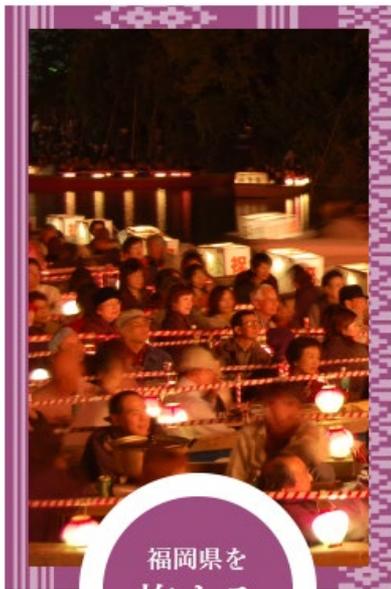
見るとわかる！
新しい視点！

さらに第三次産業と
合わせ、拠点集約
度の指標になるかも



- ・可視化サイトの触りやすさを体感
- ・地域のデータによるつながりが見える
- ・広域的な連携を発見できる

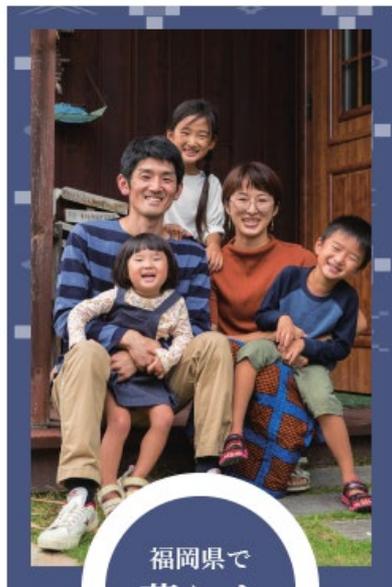
さいごに 福岡県のPR



福岡県を
旅する

福岡県観光情報公式サイト
クロスロードふくおか

移住・定住ポータルサイト
福がお〜か暮らし



福岡県で
暮らす



福岡県を
味わう

ラー麦
あまおう
うどん
もつ鍋
水炊き
やきとり

広報誌
グラフクオカ



福岡県を
知る